

日本で見られる野鳥は600種を超えるといわれ、中には市街地で出会える種も少なくありません。ここでは、東京都内で見られる野鳥を季節ごとにご紹介します。たまにはゆっくりと、野鳥の個性豊かな声や姿を楽しんでみませんか。

今号は、春から初夏にかけて音で楽しませてくれる野鳥です。

### オオルリ

オスが瑠璃色、メスは褐色です。春と秋の渡りの途中、街の公園で見られることも。ピールピールージジなどのゆるやかなさえずりが美しく、日本三鳴鳥の一種に数えられます。



### コゲラ

スズメ大の、日本一小さなキツツキです。最近は大い木や古木のある住宅地、公園などで見られます。木の幹をつついて連続音を出す「ドラミング」は繁殖期に聞くことができます。



### ウグイス

ホーホケキョとおなじみの美声でさえずります。春告鳥とも呼ばれ、初鳴日を気象庁が観測しています。体は茶褐色でやぶの中にいることが多く、あまり姿を見ることができません。



監修 公益財団法人日本野鳥の会



表紙の絵 「たんぽぽに蝶」 1960(昭和35)年 笠間日動美術館蔵

守一の油絵の中には「たんぽぽ」や「蝶」を題材にしたものが何点も残っている。中でもこの作品は飛びかう蝶に動きがあって面白い。たんぽぽが春を満喫しているようだ。自宅の小さな庭に腰かけて眺めたものだろう。

(画家・熊谷守一次女 熊谷榎 談)

●熊谷守一(くまがい・もりかず) 1880~1977

画家。1880年、岐阜県生まれ。1904年、東京美術学校(現・東京芸術大学)を卒業。晩年は主に身近なもの、庭の動植物や昆虫などを描いた。45年の歳月を過ごした豊島区の旧居跡地には、現在、氏の美術館が建っている。

※豊島区立 熊谷守一美術館：  
東京都豊島区千早2-27-6 / 03-3957-3779  
(休館日：月曜日・冬期2週間・臨時休館有)

- 03 あの人の「魅力」に迫る  
長井鞠子さん  
会議通訳者
- 06 健康増進&病予防!  
丈夫な骨が  
健康寿命も伸ばす
- 08 仕事を学ぼう! (読者参加企画)  
手話カフェ  
[共済組合からのお知らせ]  
10 第2回支部運営審議会の報告/  
第3回支部運営審議会の報告  
11 平成27年度予算・事業のあらまし  
12 平成27年度公立学校共済組合東京支部の  
保健事業について  
15 平成26年度末に退職される方の  
健康保険の手続について  
16 掛金率の改定/  
平成27年度当初の採用・転入者の  
手続について  
17 掛金について  
18 被用者年金一元化について  
20 年金関係手続について  
21 組合員が亡くなられたとき  
22 人間ドックのご案内  
24 直営・契約医療機関の窓口負担額の変更/  
柔道整復師のかかり方  
25 療養費・家族療養費  
26 給付金の受取口座変更手続について  
27 貸付事業のご案内  
28 ホームページのご案内  
30 かがやきメイト通信  
[東京都教育委員会からのお知らせ]  
14 メンタルヘルス対策事業のご案内  
[東京都教職員文化会からのお知らせ]  
29 東京都教職員文化会事業への  
助成等について  
31 クイズで知る 文豪が描いた東京